

報道関係各位

2017年6月29日  
学校法人 東京国際大学

## 留学生を中心とした学生チームが 宅配業界の課題解決に向けた発表会を実施

18カ国もの学生が不在配達やドライバーの人材不足解消など、宅配業界の課題解決策を提案

学校法人東京国際大学（東京都新宿区 理事長・総長：倉田 信靖）は、2017年4月より日本の宅配大手・ヤマト運輸株式会社の協力を得て、留学生向けにPBL（Project Based Learning）型授業を行ってまいりました。6月10日（土）にヤマト運輸銀座ビルにて、発表会を実施しました。



このPBLには、本学のE-Track<sup>※</sup>（English Track Program）およびJ-Track<sup>※</sup>（Japanese Track Program=通常の学部）で学ぶ、日本人1名を含む18カ国30名の学生が参加。宅配業界が抱える課題を学ぶとともに、実際にヤマト運輸の物流施設などを見学し、宅配業界が抱える課題の抽出と、その解決策の提案に向けての活動を行いました。学生だけでなく、メンターを務めるヤマト運輸の社員も含め、活動のすべてを英語で行っているのが特徴です。ヤマト運輸でも英語による大学とのPBLに取り組むのは初めてのこと。

最終プレゼンテーションでは、①不在配達の増加・ドライバーの人材不足解消、②ヤマト運輸のグローバル化、③技術革新と変化するビジネス環境への対応、などのテーマについて、6チームによる発表が行われました。「企業主導型保育事業の展開や奨学金制度導入によるドライバー不足の解消」、「情に訴えるCM作成やアプリケーションの活用による再配達削減」などが、動画やミニパンフレットなどで工夫を凝らしたプレゼンテーションが行われヤマト運輸の関係者も留学生ならではの着眼点やアイデアに真剣に耳を傾けていました。

プレゼンテーション後の結果発表・講評では、ヤマト運輸人事戦略部の渡邊様から、「2カ月間とは思えないほどよく研究されており、様々な国・地域から集まった学生ならではの斬新で柔軟な着眼点が多数見受けられた。既に取り組みが決まっているものもあるが他にも検討していきたい」という評価をいただき、優勝チーム「Ichiban」の発表がありました。優勝チームの学生リーダーからは、「このような貴重な学びの機会を与えてくださったヤマト運輸株式会社と石黒先生に感謝します」と喜びの声が聞かれました。

また、本学では今後も学外の企業や機関との協力を推進し、学生に様々な機会を提供していきます。留学生を多く抱える本学の特色を活かし、様々な課題の解決に協力しつつ、国際社会が求めるグローバル人材を育てていきます。

※ E-Track（English Track Program）：教養科目、専門科目のすべての授業を英語で学ぶ「英語学位プログラム」

※ J-Track（Japanese Track Program）：通常の学部

（商学部・経済学部・言語コミュニケーション学部・国際関係学部・人間社会学部）

### 本件に関するお問合せ先

学校法人東京国際大学 企画広報1課（担当：森山、和泉澤、松本）  
TEL：049-233-2681 FAX：049-232-3300 Email: kouhou@tiu.ac.jp

### <プレゼンテーションのテーマおよび学生からの発表内容>

- ・ 不在配達・ドライバーの人材不足解消について  
→ 新たな配達方法（不在時の玄関先配達、鉄道の活用）、顧客登録・インターネット・SNS 機能を用いた新たな集配管理方法、託児所・デイサービス機能と集配ロッカーのドッキング、駅構内店舗開設などの提案。
- ・ ヤマト運輸のグローバル化について  
→ グローバル化に対応するプロモーション、社員育成方法の考案。
- ・ 技術革新と変化するビジネス環境への対応  
→ イーコマース、海外展開における現地企業とのパートナーシップに関する提案。

### <PBL 参加学生 出身国>

ジンバブエ、スリランカ、ベトナム、オランダ、フィリピン、アメリカ、ロシア、ウズベキスタン、中国、インドネシア、ブラジル、日本、シンガポール、バングラデシュ、ナイジェリア、ドイツ、スウェーデン、ネパール（順不動）

### <PBL 指導教員 プロフィール>

石黒久仁子（国際戦略研究所 准教授）

大学卒業後、国内専門商社・外資系企業に勤務。その後企業人事部門での長い経験を基に、英国シェフィールド大学大学院にて、雇用・マネジメントに関する研究を続け、博士号取得。2015 年より本学にて教育・研究活動を実施。

### <これまでの授業の概要>

6 月 10 日の最終発表を目指し、ヤマト運輸より選出されたメンター（8 名）の方々と学生（30 名）が 6 つのグループに分かれ、各グループ、会社を取り巻く環境と現在、将来にむけて直面する課題の分析、ソリューションの検討、最終提案の作成などの一連の活動を中心に集中授業を実施しました。

これらの活動を通じて、学生は大学で学んでいるビジネス・マネジメントに関する様々な理論・コンセプトや手法の実際の事例への適用、効果的なグループワークによるプロジェクトの推進・完遂のためのマネジメント、効果的な最終提案のためのコミュニケーション、などのスキルを着実に身につけています。

更に、課題分析・ソリューションの発案のために必須である、日本経済・ビジネス環境に対するより深い理解も、本授業を通じて着実に身につけています。

グループ・ワークでは、様々な国・地域から集まる学生と、日本をベースに働くメンターの方達が集中的に議論を重ね、プロジェクトを推進しました。通常の講義やクラブ活動などとは異なる時間を通じて、メンターの方と学生、また学生同士が、ひとつの目標に向けて多様な価値観や文化・社会的背景を理解してコミュニケーションを深める、貴重な活動になりました。

#### 本件に関するお問合せ先

学校法人東京国際大学 企画広報 1 課（担当：森山、和泉澤、松本）  
TEL：049-233-2681 FAX：049-232-3300 Email: kouhou@tiu.ac.jp